



議会だより



三好市にて選挙制度研修

移動期日前投票制度の説明を受ける

九月定例会

議員研修（徳島県）	2P～4P
一般質問（8人が質問）	5P～12P
議長一口メモ！	11P
議案の審議結果（9月定例会）	13P
議案の審議 そこが聞きたいQ&A（9月定例会）	14P～15P
産業建設常任委員会報告	16P
中学生コラム シャクリ漁で学んだこと	16P・17P～18P
議員寄附行為の禁止	19P

議員研修

過疎対策に取り組む先進地への視察研修

片岡 智 準

本町議会では、高齢者の投票所への移動手段の困難性など模索検討中、すでにこれらの取り組みを進めている先進地を視察研修し、併せて移住促進など、地域活性化を図ることを目的に研修を実施した。

視察研修日程

10月2日～4日までの3日間

研修参加者

町議会議長以下10人
選挙管理委員長以下3人

視察研修先

徳島県三好市、同神山町、
同上勝町

◎1日目

★三好市選挙制度研修

三好市は旧池田町を中心
に6町村が平成18年に合併



移動投票車（模擬投票中）

して誕生した市。

面積は約721㎢、人口約2
万6千400人。名勝として大
歩危峡、剣山が有名。

かつて池田高校野球部で
有名にはなったが現在では
過疎化が進み、1投票所で
選挙人名簿登録者が7人と
なった地区があり、投票所
の機能維持が困難となっ
た。

また隣接投票所までの距
離が約15kmあり、平成29年
7月の衆議院選挙から「移
動式期日前投票所」を開設、
現在に至る。

運用にあたっては地区住
民の意見聴取、風雨対策、
設置場所などの問題点の検
討を進め、移動式（ワゴン
車投票所）投票制度が採用
されている。

ワゴン車による投票は、
島根県浜田市などでも実施
されている。

戸別訪問的な移動式投票
所開設の可否、事前に告示
すれば数カ所での開設、夜
8時までの開設など質問
し、法的に問題ないことを
確認した。

本町でも差し迫った問
題、議会、選挙管理委員会
で議論しベストな方法を模
索し、公平中立で町民が投

票権を行使しやすい環境整
備が求められる。

◎2日目

★神山町移住推進コンセプ
ト研修

サテライトオフィス（本
社から離れた場所に設置さ
れたオフィス）同推進事業
の主体は神山町農村改善セ
ンターに事務所を構える



サテライトオフィス視察（神山町）

「NPO法人グリーンバ
レー」が2007年に「神
山町移住交流支援セン
ター」を設立、方針として
「人口減はやむ得ない、中
身を変化させる」を基本に、
インターネットによる情報
発信、神山町への移住相
談、空き家・空き地の紹介、
空き家の片付け支援、不動
産業者と連携した契約支援
などの業務方針によりス
タート。

人口構成の健全化と多様
な働き方を実現できるビジ
ネスの場の創出。

現在までに支援センター
を介しての移住者は約230
人、今日現在で134人（外国
人3人含む）、サテライト
オフィスは17社となり、人
口が増加した。

神山町は徳島市内から車
で約50分のところに位置す



サテライトオフィス内部（神山町）

る中山間部の田舎町。人口は約6千人、高齢化率約46%、町には高速ブロードバンド網が町内全域に整備され、また国内外のアーティストが滞在するアートの町、さらにはお遍路道があり古くから行き来する旅人も多く多様な人が入り交じる町でもあった。

神山町のこの環境は、企業サイドから見た場合、東日本大震災で感じたりリスクの分散、働き方改革、民間主導、高速通信網が整備され、さらにはお遍路受け入れの土地柄は多様性の尊

重・寛容で人柄もよく神山町を選択した。

これらの事業に行政は直接かわっておらず、民間主導で行われ、空き家改修補助金、若者定住住宅新築等補助金、結婚祝い金程度の支援にとどまっている。

企業の大半はIT関連が多くサテライトオフィスを見学すると、本社とはテレビ画面でつながり、同じ社内ですべての仕事をしている感覚になる。

また、サテライトオフィスは外からよく見え、中には県庁の「新未来担当創造室」の事務所があり、県庁の担当部署とのテレビ電話では、直接話しているようで何ら違和感はない。

全戸でのインターネット環境の整備、移住者への寛容・多様性の問題など実際に本町への適用については町民からの意見を聞き、行政内でも議論を進める必要性はあるものの意義ある内容で本町の過疎対策の一助となることが望まれる。

★徳島県上勝町内の各種取り組み研修

徳島県上勝町は神山町の南に位置し、四国山地南斜面のすそ野に広がる面積110km²、人口約1千572人の本町に酷似した山間地。この地で2011年から16年までの6年間に個人事業主、農協、行政などが関与し、葉っぱビジネスで有名な「いもどり」ほか、いくつかの事業を立ち上げ、過疎対策を図っている。

★木質バイオマス事業

月ヶ谷温泉施設にバイオ



木質バイオマスボイラー（上勝町）

マス（木質）ボイラーを2基設置（250kW・500kW）総工費合計1億3千500万円、ボイラーはチップ式、年間メンテナンス費用110万円で運用している。

当初は地元企業からチップ搬入していたが人手不足から外部購入となつている。ボイラー内温度は570度に達しているが、温泉の湯沸し、冬季は暖房にも利用している。チップの単価はキロ20円で1日に約1.5トン使用。

★ゼロウェイスト宣言

平成15年上勝町議会が「ごみゼロを宣言」。背景として同町のごみ処理は基本的に個人の「野焼き」が中心であった。廃棄物処理法が改正施行され規制が強化、従来の小型焼却炉が閉鎖されたことに伴い、対策が必要となり、当初は34分前からスタート、町民自らがごみ収集施設（現在新施設建設準備中）へ持ち込み処理がされている。

持ち込まれたごみは資源ごみ（ペットボトルなど）、再生処理（鯉のぼりで洋服



ごみ分別・集積場所（上勝町）



ごみの販売単価の説明（上勝町）

などを製作)し販売しているもの、無料で家に持ち帰れる物に分別し無駄のない処理システムがとられている。

廃棄物には販売単価、処理費用単価が表示され、分別にかかる費用が明確に示されている。

収集場所に隣接して「くるくるショップ」「くるくる工房」を開設。

現在では分別も45品目に細分化、布おむつ進呈制度や「ちりつもポイントキャンペーン」とユニークな名称を付けて還元商品を提供し、町民にさらに意識向上を促している。

生ごみはすべて各家庭に発酵処理機を備え付け、有機肥料として活用され、まさにごみゼロに向けた取り組みがされている。

★有償ボランティア輸送事業

自家用車を持っている人と利用希望者が会員登録し、タクシー代わりに利用

する制度。

現在、運転者が28人、車が32台、登録会員359人で運用されている。この事業は国の認可を得、二種免許のない方は国の認定講習受講が必要だが、各種条件が整えば実施は可能。しかし、町内にタクシー業者があれば調整が難しい。

★葉っぱビジネス

上勝町で現在葉っぱビジネスに参加者は60人、商標登録された葉っぱなどの品種は320種類。

葉っぱビジネスに参加さ



葉っぱビジネス (上勝町)

れている、西蔭幸代(81歳)さんからこれまでのいきさつが聞けた。約25年前に農協職員のさりげない一言から始まった。「庭のアジサイをパックに詰め売ってみては」

花をパックに入れ10パックをセットで農協にもって行き販売した結果、1万円だった。

専業となった現在、多い月は1カ月に20万円になり、最高齢者は92歳で現役バリバリ、医者とは無縁の生活を送っている。その一因に毎朝8時インターネットによる会員限定の入札が始まり、注文量に達すると入札が終わるシステムがとられている。入札が終了するまでは緊張したときを過ごし、落札したときの満足度は生きている幸せを感じて。

葉っぱビジネス「いろいろ事業」は商標登録しブランド化され、家族にも好影響を与え、地域全体に活気が出ている。

皆さんも何気ないところからヒントを得てチャレンジしてくださいと話されていた。

◎3日目

★伝統文化の継承

☆阿波木偶人形会館

☆県立阿波十郎兵衛屋敷

阿波人形会館では全国で使用されている、人形浄瑠璃の木偶の大半を製作している。

徳島県内には七つの座があり、阿波十郎兵衛屋敷では、定期的に公演が行われているが、集客数は年々減



人形浄瑠璃 (徳島市)

少し、伝統芸術・伝統芸能を継承する難しさはどこも同じである。

研修を振り返り

三好市での移動式の期日前投票制度については、その線引き、体制の問題など課題が多い。

神山町の企業誘致にも中心となるNPOの立ち上げなど実施主体設定からの取り組みを要す。

上勝町の葉っぱビジネスは身近でできる取り組みではあるがビジネスの二番煎じには抵抗を感じる。

ごみゼロへの取り組みと有償ボランティア運輸事業については本町の現状からは難しいと思う。

今回の研修は、すべてが新鮮で町おこしや過疎対策に有意義な内容が多く、今後各議員が研修をヒントとして新たな視点での提案がされれば意義あるものとなる。

町 政 を 問 う 一般質問 8人登壇

☆藤崎源彦 議員 P 5
☆障害者雇用義務について

☆片岡智準 議員 P 6
☆介護人材確保の取り組みについて
☆災害被災者支援基金の創設について

☆野村安夫 議員 P 7
☆個人住宅耐震改修について
☆ふるさと納税について

☆大野弘 議員 P 8
☆防災対策について
☆空き家対策について

☆左京憲昌 議員 P 9
☆大崎橋の架け替え
☆引地ドライブイン下の公園
☆グループホーム・訪問入浴など

☆竹本文直 議員 P 10
☆高齢者交通対策
☆ポスト維新博について
☆公共料金収納について

☆西森久雄 議員 P 11
☆飲料水会社について
☆保安林について

☆岡田良成 議員 P 12
☆地震対策について
☆住宅耐震化について
☆避難準備時の対応について

一般質問

障害者の雇用義務は？



〔答〕 本町障害者職員は法律に基づく人数(町長)

問 藤崎源彦議員

本町役場職員の障害者雇用は法律に定められた障害者雇用率2.5%以上か。そして、その雇用状況を厚生労働省の管轄機関に報告しているか。

答 大石町長

本町役場職員の障害者雇用率は、教育委員会を除き、職員数167・5人(短時間勤務職員は算定上0.5人)

問 藤崎議員

に対する割合となり、2・39%である。しかし、対象職員数に2.5%を乗じ端数を切り捨てた4人が法定雇用障害者数となり、同数の4人を雇用している。障害者任命状況通報書を毎年、高知労働局に提出。

答 大石町長

障害者に対する差別の禁止及び合理的配慮の義務について、適正に実施しているか。働きやすい職場環境づくりに取り組んでいるか。

答 片岡総務課長

採用時に、本人の意向を聞き、業務内容についてもそれを受け止め適正な課に配置している。各所属課には、理解して取り組み、相談なども個別に対応するよう指導している。



イメージ(日経ビジネスオンラインより)

問 藤崎議員

〔答〕 業務委託先の障害者雇用状況の把握は、社協が1人雇用の義務があり雇用している(町長)

合は、ケースにより保健師などが対応している。

答 大石町長

雇用しているか。また、他に対象となる事業者はあるか。

本町が業務委託している事業者のうち、障害者雇用率制度の対象となる45・5人以上の従業員を雇用する事業者、仁淀川町社会福祉協議会は、法定の障害者を

社協の障害者雇用は、1人を雇用する義務があり、1人を雇用している。雇用状況を毎年、公共職業安定所長に報告している。町内において、社協以外で障害者雇用率制度の対象となる事業者はない。

介護職員確保の
取り組みは

〔答〕 人材確保に町を
挙げて取り組む (町長)

問 片岡智準議員

介護職員確保について、町単独で全力で臨むのか聞く。

答 大石町長

人材確保は、県の補助事業、町独自の補助事業も併せ望んでいる。人材確保のため、介護職員初任者研修を毎年行い、町内事業所には支援金を補助している。本町では人材確保は今後より深刻になる。重要な課題と位置付け

て、社協や各事業所と連携しながら取り組む。

問 片岡議員

7年後は深刻度が増す。従来、介護は女性の職場的印象があった。男女雇用機会均等法がある現在、男性も取り組む雰囲気町が率先して示すべき。

そのため介護の重要性を意識付け、定年退職者の男性に目を向け、町が管理する形での支援体制を構築されたい。

答 片岡保健福祉課長

介護人材不足は深刻。介護従事者は臨時を含め131人。

初任者研修者などが計12人あり、人材確保に努める。

答 大石町長

人材不足は深刻で県も力を入れている。事業所と連携し、町も支援に力を注ぐ。

問 片岡議員

今後の取り組みに期待する。給与面でも優遇を。

答 片岡保健福祉課長

ホームヘルパーには手当とは別に月額1万円を限度に補助をしている。



社会福祉協議会本所

災害被害者支援
基金について

〔答〕 必要性があれば検討する (町長)

問 片岡議員

全国各地で激甚災害が発生し公的支援はあるが、本町独自の「災害被害者支援基金」を設立し、災害発生と同時に「当座資金援助」の仕組みを作ってはどうか。

答 大石町長

本町は人命を守ることを最優先。資金援助は「罹災

者に対する救助金支給条例」で応急的な救助金を支給するが、近年想定を超える災害が発生しており、国、県の制度を活用し基金創設も検討したい。

問 片岡議員

危機感を持ち、制度の活用を進め、基金創設にあたっては「物資」も併せ検討を。ボランティアの支援は発生後、1週間以上かかる。

地元業者、個人を登録し即座の対応を構築しては。

答 大石町長

災害発生時は自助共助が重要。本町では、自主防災組織、消防団を通じ災害に対する認識を高め、人材確



イメージ

保に努め、避難所マニュアルも作成し配布する。建設業協会とも災害協定を結び対策を講じている。

問 片岡議員

定期的に訓練を行いスムーズな対応を。

答 大石町長

町では毎年、自主防災組織を中心に防災研修や総合的訓練をしている。



訓練の様子



個人住宅耐震改修 工事の補助金は



要望には
最大限応える(町長)

問

野村安夫議員

平成29年度の申込件数と
予算は。

答

大石町長

耐震診断及び耐震改修の
要望に対しては、時間が必
要な場合もある。
平成30年度は、耐震改修
3件の申請を受け、事業を
実施中である。

答

片岡総務課長

平成29年度は、耐震診断
10件、改修を5件。県に依



耐震化が必要と思われる住宅

問

野村議員

平成29年度、四国では奈

ふるさと納税について

答 返礼品を工夫する
(町長)

答

大石町長

住民の命が一番大切。予
算が不足しても早めの対応
を。
住民の要望には、できる
だけ応えていく。
国、県に対して予算を要
望し、場合によっては町単
独でも実施したい。

問

野村議員

頼、総事業費は462万円。診
断から改修までには時間が
かかる。

答

大石町長

半利町が納税金額トップで
約39億円、全国でも9位に
ランクされている。
本町も力を入れるべきで
はないか。

ふるさと納税の高額返礼
品が問題になっている。
本町では、高額返礼品は
ない。

今後とも良識を持った対応
を考慮し、地元特産品や観
光資源など地域の活性化を
図り、応援される制度にな
るよう努める。

答

片岡総務課長

ふるさと納税件数は358
件、寄付額で947万円。返礼
品の内訳は、茶製品、竹細
工、高糖度トマト、文旦、
宿泊券など。

問

野村議員

奈半利町に比べると、大
変少ない、もう少し頑張っ
てもらいたい。

答

大石町長

町のPRと地域の特産
品、観光資源を生かして、
商品開発も含め、充実した

中身にしていきたい。

返礼品の一部

ふるさとチョイス(仁淀
川町ホームページより)



防災対策を聞く



危険箇所は
早急に対応する(町長)

問

大野 弘議員

大阪府北部地震で、ブロック塀が崩れた事故を踏まえ、本町でも安全点検を実施したと思うが、結果を聞く。

答

大石町長

点検の結果、学校敷地内には、高さ1.2mを超えた箇所はなかったが、亀裂が見つかり、今後改修を行う。他の公共施設にも、亀裂や適正な基礎が施工されていないものがあり、取り壊



亀裂の入った塀

しや改修を計画。今回は、ブロック塀のみ点検を行ったが、他の施設も確認し、子どもたちの安全確保に努める。

問

大野議員

道路沿いには石積にブロック塀を上積みしており、1.2m以上ある。十分な点検を。南海トラフ地震への対応について、町長の考えを聞く。

答

大石町長

危険箇所は早急に対応する。

私有地の塀についても、国、県の動向も見ながら支援する。

答

竹本教育長

公道などの危険箇所については、通学路に接した個人の塀についても、町長部局とともに考えていく。

空き家対策について

答 順次対応する

(町長)

問

大野議員

本町では、過疎と高齢化が進み、空き家が多くなつた。町の対策は。

答

大石町長

平成29年度より建築業協会、法務局、消防団で構成

する仁淀川町空き家等対策協議会を設置。

認定された空き家は、除却費用の8割、上限100万円の補助金制度がある。

29年度は8棟が特定空家と認定され、6棟を除却。

30年度には、現在10棟が特定空家に認定、予算の範囲内で除却を行う予定。

問

大野議員

地域の現状を確認し、危険箇所の対応を。

移住促進にも空き家情報の把握が必要。

入居先が決まらず隣町に移住した話も聞くが、Iターン希望者への情報提供はどのようになっているか。

答

若藤企画課長

空き家情報はホームページに載せ、回覧や個人的に問い合わせるなど情報収集をしている。

答

大石町長

老朽化し危険なものは、認定し所有者と交渉をしながらか取り壊しを進めている。

危険箇所の調査で、イエローゾーンが多く、今後の調査でレッドゾーンの地区も出る。

この警戒区域内は紹介できない。

対策工事をしないと、避難所、公共施設も取り組みができなくなる。今後検討し要望していく。

問

大野議員

入居可能なものは移住促進に活用し、危険な建物は取り壊し、住民が安心できる対策を。

答

大石町長

協議会を通じ対応する。

※1 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
住民などの生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域
※2 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
住民などの生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域
一定の開発を制限する(審査による許可制)



新しい大崎橋の建設は

重要な課題だと認識(町長)

問

左京憲昌議員

大崎橋架け替えの進捗状況と、陳情書への対応は。

答

大石町長

過去2度橋梁点検を実施、「早急な補修の必要性は低い」との結果であったが、老朽化も進み、平成30年度近接目視による点検を委託、結果を加味し検討する。

陳情書を受理し、地域の思いを受け止めた。住民生活の安心と安全、



架け替えの必要がある大崎橋

産業面からも、大崎橋の架け替えは重要な課題だと認識している。
しかし、多額の費用が必要、現在の橋の機能を維持しつつ、架設箇所の選定や、概算工事費用の調査などを進める。

問

左京議員

引地ドライブイン下の公園？

答 公園化する。現在までの費用総額約2億3千万円(町長)

現在は土捨て場だが、これで完成か。

用地買収から現在までの総額は。

今後はどれだけ見込んでいるか。

答

大石町長

公園にするとの条件で土地を購入、一定期間は土捨て場と



引地ドライブイン下公園予定地

して活用、最終的には地域の要望を受け、公園として活用したい。

土地代約6千万円、立木その他補償約2千700万円、花の森公園としての整備約1億4千万円。

今後、年に除草費用180万円程度と仁淀川に下りる歩道の整備・植栽を予定。

答 グループホーム・訪問入浴など？

答 各事業者の意見を聞き検討している(町長)

問

左京議員

全国一律のサービスを目指した訪問介護などの制度

と本町の環境を比較して事業者や従事者が不利益となる点は、町の責任で補い、関係者が誇りと希望・達成感の感じられる職場となる支援が必要でないか。

担当職員以

外も、時には訪問介護を手伝う、小規模の事業所しか存在しない本町、「ホームヘルパー確保対策事業」は訪問介護職員に限定せず、全職員を対象とした支援が必要。

答

大石町長

本町は都市部と距離は同じでも、移動に要する時間や労力などの負担は大きい。中山間の本町では居宅訪問などのサービスの所定単位数の15%を特別地域加算として上乗せ請求が可能。

県はヘルパーの手間や車の燃料代などの負担について「中山間地域介護サービス確保対策事業」で支援。

訪問入浴サービス事業の赤字に対して、町単独事業で、社協に補助。

人件費の町単独支援は町内の事業者が処遇改善加算の最高単位を確実に取得し、賃金の改善につながる支援を実施している。

高齢者
交通対策は

〔答〕 前向きに検討する(町長)

問 竹本文直議員

町営バス、コミュニティバスは町内の利用に限られる。黒岩観光と北部交通との、接続は中途半端な狩山口バス停にあり大変不便。439交流館まで路線を延長できないか。

答 大石町長

高齢者生活支援のため、利便性が高く、地域に密着した持続性のある交通手段について、引き続き関係機関と検討を続けていく。



不便な場所にある狩山口バス停

〔答〕 片岡総務課長

バス路線を延長した場合の費用負担について、北部交通やいの町とも協議し、関係市町(南国市、高知市、いの町)との協議の場で話を進めていく。

問 竹本議員

いの町、北部交通、両者とも、関係市町と合意ができれば可能との回答、腹を決めて交渉を。

〔答〕 片岡総務課長

いの町境界から池川の中心部までが約4km、単純に計算すると年間182万円ほど必要。

問 竹本議員

乗り換えなしで高知市に行ける。病院見舞いや通院など重要な路線、ぜひ実現を。

〔答〕 大石町長

追手前高校吾北分校との関係もあり、いの町とも連携しながら話を進める。

ポスト維新博に向けて

〔答〕 観光振興に取り組む(町長)

問 竹本議員

来年から県はポスト維新博を計画、本町の取り組みを聞く。

〔答〕 大石町長

おもてなし観光の推進。具体的には各観光地のトイレ改修。外国人観光客の増加を念頭に、観光地看板及びパンフレットの多言語化に取り組む。主にキャンプだけの体験型観光を田舎暮らし体験など、拡充していく。

問 竹本議員

県は自然体験型観光を磨き上げ受け入れ態勢のレベルアップを目指すとしている。

旧松山街道は、幕末にジョン万次郎、脱藩の志士、松山征伐時にも利用された歴史ある街道。越知町、久万高原町は整

備済み、本町分は全く整備がされていない、整備を進めては。

〔答〕 竹本教育長

松山街道は、歴史的に多くの方が利用、松山と高知城下の行き来に頻繁に使われた街道、史跡、文化財としての指定はなく、状態としては荒れている。維持保存に努めることは一定できるが、観光、地域の活性化を目的に利用するには担当部署と協力をする。



池川町時代に掲げられた案内図

公共料金の収納は

〔答〕 不備な点があった、今後改善する(町長)

問 竹本議員

水道料金などを口座引き落としにしている場合、残高不足で引き落とし不能

時、後の請求、収納はどのような手順か。

〔答〕 大石町長

口座振替の場合、毎月25日に引き落とし、引き落としができない場合は個別に再振替依頼通知書を送付。その後、翌月の10日に再度口座振替を行い、引き落としが確認できない場合は、個別に督促を行う。

問 竹本議員

一定期間経過した水道料金の支払い通知書が送付された。

一番古いのが7年前。この期間、収納の努力をしたのか。

〔答〕 津野町民課長

今回指摘された件は、一定期間、納付の取り組みが怠り、抜かっていた。今後このようなことがないように取り組む。

問 竹本議員

今回のような場合は次月に加算をし、引き落としとしては。

〔答〕 片岡副町長

システム上可能であれば検討に値すると思われるので研究していく。



長者農村広場への 工場誘致について

③ 会社の回答待ち(町長)

問 西森久雄議員

長者地区での説明会後の経過を聞く。

答 大石町長

長者地域区長会で説明したとおり、試掘で水質水量調査をする予定であったが、新社長が来町し「6月に社長が代わり、現在、経営体制を整えている。生産工場建設は大きな事業で慎重に進めるため、しばらく見合わせ、検討したい」と説明があった。

町として期待をしていた。連携を取り実現に向けて取り組む。

問 西森(久)議員

説明不足ではないか。工場の設立を希望する声が多数占めたが、一部では子ども遊び場がなくなるとの声もあった。

誘致ができるのであれば、長者小のグラウンドにナイター設備を設置することが先ではないか。

答 大石町長

基礎調査では長者地区が適地とのことであるが、最終的な水質調査に至っていない。



水源地

工場建設に伴い、子どもたちの安全な遊び場所の確保は当然必要、対策を講じる。

保安林について

③ 引き続き森林整備に取り組む(町長)

問 西森(久)議員

保安林から生活用水を利用している住民は水が少なくて困っている。

県への要請はできないか。

答 大石町長

各地区で水が枯渇し、水源地の見直しの課題も多い。

通常の山林と同様に間伐補助金の利用ができ、保安林内の間伐を進めている。事前に県からの作業許可を得る必要があるが、申請に向けての指導は県と協力し、森林整備に取り組んでいく。

議長(ロメモ！)

鮎の玉ジャクリ

夏休み前のある日、仁淀中の生徒から「鮎のシャクリを教えてほしい」と電話がかかってきた。生徒は9人、女子も含まれているとのこと。水鏡の調達から仕掛けづくりまで9人分、何とか準備はできた。

今年は雨が多く、シャクリができるか心配をしていたが、本番当日は晴天で水は澄み、シャクリには最適の日となった。

「事故には気を付けて」と注意をし、全員が生まれて初めて鮎のシャクリに挑戦した。

難しい漁法なので釣れるかどうか不安だったが釣果は期待以上のもので、半数以上の生徒が鮎を釣り、多い者は3匹以上も釣ることができた。

仁淀伝統のシャクリをする若者も少なくなった現在、9人の中から将来名人と呼ばれる後継者が育つことを願わずにはいられない。

議長 若藤 敏久

※読後、議会だよりに対するご感想、ご意見をお寄せください

(仁淀川町議会事務局)

☎35-11081

〒吾川郡仁淀川町大崎200番地

※議会を傍聴しませんか

(日程は、防災無線などでお知らせいたします)

南海トラフ
巨大地震対策は

優先順位を
決めて進める(町長)

問

岡田良成議員

南海トラフ巨大地震は、30年以内に7〜8割の確率で発生と予想、町内の耐震工事ができていない施設は。

答

大石町長

中央公民館、大崎診療所などは現在の耐震基準を満たしていない、昭和56年以前に設計された建物は、町内56カ所。町営住宅、地域集会所、倉庫、トイレ、バス待合所なども含まれる。

問

岡田議員

継続的な対応を。

答

大石町長

優先順位の高いところから進める。

問

岡田議員

住宅耐震改修工事補助金の利用状況は、関心が高く、取り組んでいる(町長)

住宅の耐震化に関心が高まり災害に対して不安を抱いている。

平成30年度、改修工事の件数、補助金は。



耐震化されていない中央公民館

答

大石町長

平成30年度、耐震診断10件、耐震設計及び耐震改修5件、耐震補助金565万円実施。

熊本地震から関心が高まり、県と連携し取り組んでいる。区長会などを通じ推進していく。

避難準備時の
対応を問う

(答)避難所運営マニュアルを作成する(町長)

問

岡田議員

避難場所、移動困難者への対応、避難所でのプライ



福祉避難所の一つ、とちの木園

答

大石町長

バシー確保、食糧備蓄、寝具など、準備状況は。

避難準備情報の発令は、台風接近時に早めの避難を促す意味で周知。施設を避難所として開放。

介助が必要な方は、福祉避難所を開放、付き添い人と共に避難。移動については地域で考えていただくが、状況により、消防、救急に要請することもある。

避難勧告発令時、職員の配置、避難者の把握、食事提供など行う。

大規模災害発生時は、状況に応じて対応する。

避難所でのバシー確保は間仕切りで対応するように準備中。

備蓄は食糧1800食、毛布1000枚、飲料水1200ℓ、乳児、幼児、女性、高齢者などに必要なものを準備。

避難場所指定の見直しと準備は、



戸別受信機(家の中に設置することで明瞭な受信ができる)

答

大石町長

戸別受信機を全戸配置するように整備している。

問

岡田議員

先日の台風で、防災無線が聞き取りにくく、対応が遅れた実態がある。防災無線機の対応はできているか。

今後の課題。

大規模災害を想定し、地域住民と避難所運営ができるよう、運営マニュアルを策定していく。

議案の審議結果

平成30年第4回仁淀川町議会9月定例会議決事項

議案番号	件 名	議決結果	賛否
認定第1号	平成29年度仁淀川町一般会計歳入歳出決算の認定について ※歳入総額87億5,026万5,075円、歳出総額83億7,158万4,442円で、翌年度に繰り越すべき財源は1億751万円、実質収支額2億7,117万633円	原案認定	全員賛成
認定第2号	平成29年度仁淀川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について ※歳入総額9億5,696万713円、歳出総額9億625万8,592円で、実質収支額5,070万2,121円	原案認定	
認定第3号	平成29年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定歳入歳出決算の認定について ※歳入総額1億7,836万9,362円、歳出総額1億7,694万6,794円で、実質収支額142万2,568円	原案認定	
認定第4号	平成29年度仁淀川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について ※歳入総額12億1,272万564円、歳出総額11億8,790万3,764円で、実質収支額2,481万6,800円	原案認定	
認定第5号	平成29年度仁淀川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について ※歳入総額1億2,768万9,401円、歳出総額1億2,707万9,801円で、実質収支額60万9,600円	原案認定	
認定第6号	平成29年度仁淀川町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について ※歳入総額1億2,324万2,945円、歳出総額1億2,224万2,905円で、実質収支額100万40円	原案認定	
認定第7号	平成29年度仁淀川町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について ※歳入総額4,079万6,941円、歳出総額3,982万6,633円で、実質収支額97万308円	原案認定	
認定第8号	平成29年度仁淀川町観光センター等管理運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について ※歳入総額1,268万6,043円、歳出総額12,68万6,043円で、実質収支額は0円	原案認定	
認定第9号	平成29年度仁淀川町会計事務集中管理特別会計歳入歳出決算の認定について ※歳入総額9,144万1,386円、歳出総額9,144万1,386円で、実質収支額は0円	原案認定	
議案第43号	平成30年度仁淀川町一般会計補正予算(第2号)について ※ファミリーサポートセンター事業委託料176万4,000円、大崎診療所建て替えに伴う地質調査及び基本設計に係る直診会計繰出金1,899万6,000円など4億3,696万8,000円の補正で、補正後の金額は、69億6,369万5,000円	原案可決	
議案第44号	平成30年度仁淀川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について ※平成29年度療養給付費等負担金等の精算による返還金2,540万6,000円など、5,052万9,000円の補正で、補正後の金額は、8億1,391万2,000円	原案可決	
議案第45号	平成30年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定補正予算(第1号)について ※大崎診療所建て替えに伴う地質調査委託料788万4,000円、基本設計委託料1,101万6,000円など2,041万7,000円の補正で、補正後の金額は、2億1,708万6,000円	原案可決	
議案第46号	仁淀川町過疎地域自立促進計画の変更について ※町道改良の路線追加、あったかふれあいセンター業務委託事業及び小中学校への空調機器整備事業等の追加	原案可決	
議案第47号	町道の認定について ※農道大植線を町道大植上条線として認定するもの	原案可決	
同意第3号	教育委員会委員の任命について 住所 土居甲 氏名 上野真由美(42)	原案同意	

議案の審議

そこが聞きたい

—第4回 (9月) 定例会—



○ 決算

■平成29年度仁淀川町一般会計歳入歳出決算の認定について

問 竹本議員

平成30年春に完成したフードプラン新工場の排水の濁り、悪臭の問題は解決したのか。



答 古味池川地域振興課長

工場と話し合い、定期的に現地の巡回を行っている。水質は保健所の範囲内の検査結果であった。猛暑のとき、現地を確認したが臭いは操業当初ほど感じなかった。

問 竹本議員

高速情報通信網の町内カバー率と現在の加入者数は。



答 若藤企画課長

光回線は、7月現在、483世帯の加入状況。当初の目標は、800世帯だったが、達成できていない。エリア外の人にはモバイルルーター購入補助を行い、対応している。今後も積極的に広報していく。

※モバイルルーター
ポケットなどに入れて持ち運べる
小型の通信端末。

問 竹本議員

移住促進の現状と人口減への認識と対策は。

答 若藤企画課長

移住相談員に相談があった数のみ把握している。平成25年から30年現在までの総移住者が90人。うち58人が定住、定住率は64・5%。

答 大石町長

人口対策は、林業研修生制度や、さまざまな助成制

度を創設し総合的に取り組んでいる。

問 竹本議員

町村合併して年平均180人、過去1年間に183人減。このうち65歳以上が78人。105人が転出した。政策の転換が必要ではないか。各地のイベントも人員不足で、役場職員の負担が大い。

答 大石町長

集落維持が困難な状況と認識している。

子育て支援、奨学金制度を通じ、多くの若者に留まってもらえるような地域社会を目指している。

問 左京議員

木造住宅を用意し、町外から通勤の職員が単身赴任できるような政策を提案する。

答 大石町長

強制はできないが「本人だけでも町内に住めないか」と話している。今後もし粘り強く話していく。住宅に困っているケース

は現在ない。

問 藤崎議員

本町は健全財政と言っているが、今後基金などの活用は。

答 大石町長

現在、実質公債費率1.9%で健全財政である。平成32年に合併特例措置が終了し、厳しい財政運営が予想される。今後、歳出の見直しを検討する。

問 左京議員

公衆用道路の測量委託、分筆登記費用は。



答 片岡総務課長

町は非常勤職員3人を雇用し、登記事務を行っており、費用は少ない。

答 大石町長

国土調査で決まった部分

を新たに分筆する際、周辺の同意が必要で苦慮している。法務局に働きかけたが、現在の制度では同意が必要との回答。

問 左京議員

決算書にある「出資による権利」の欄にアプロス(株)、株(フードプラン、とある。これは第三セクターか、また役員は。アプロスの決算書はあるが、なぜ、フードプランはないのか。



答 片岡副町長

アプロス(株)に町は3千800万円出資。残り1千万円を業者や任意団体、金融機関が出資している。

両社に取締役として私が入っている。(株)フードプランは810万円、約20%程度の出資金で、地方自治法による決算書の提出義務はない。

問 左京議員

報酬と賃金の使い分けは。決算書の非常勤職員報酬を計算すると約7千200万円。必要な人は正規職員として雇うべきでは。

答 片岡総務課長

非常勤職員は「報酬」、臨時職員は「賃金」で支払う。非常勤職員を「会計年度任用職員」という形で一般職員に近づけた形にした制度改正が今後行われる予定。

問 片岡議員

林業振興対策費は平成29年度、約6千万円の歳出がある。地権者は山を見に行かず業者任せが多い。間伐を推進するためには、業者が地主に対して事業内容や施行結果を説明させ、町が広報すべきでは。

答 大石町長

林産協同組合に入っている事業体に、山林所有者に説明をするよう指導をしている。森林管理推進協議会でも、周知していきたい。



答 片岡産業建設課長

今後、広報に取り組む。ある程度大きい団地になると山林所有者に説明し、森林経営計画を立てている。

■平成29年度仁淀川町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 大野議員

簡易水道の決算、工事請負費の中で一番大きい事業名は。



答 津野町民課長

4千315万円の工事費で、一番大きいのは、簡易水道施設の滅菌設備増設工事。

○補正予算

■平成30年度仁淀川町一般会計補正予算(第2号)について

問 左京議員

財産収入について。立木売払収入180万円の内容を。

答 古味池川地域振興課長

林道上名・用居線沿残土場整備工事に係る町有林を伐採した材木の収入。樹種はヒノキ、49年生。用材搬出材積は約215m³。価格は1m³あたり8千350円。

■仁淀川町過疎地域自立促進計画の変更について

問 竹本議員

高齢者などの保健及び福祉の向上及び増進事業追加で、事業内容は保育園整備事業、事業主体は民間保育園となっているが、池川の保育園か。



答 竹本教育長

池川保育園の建て替えによるもの。

■教育委員会委員の任命について

氏名 上野眞由美

(土居甲)



産業建設常任委員会報告

委員長 岡 田 良 成

実施日 8月9日
出席者

委員全員6人
議会事務局長
役場職員6人
県中央西土木事務所越知
事務所所長
河川砂防課長

視察現場先

1 町道寺村峯岩戸線災害
復旧現場について
工事費 約1千700万円
工期 平成30年8月4
日～12月29日



寺村災害現場

岩戸や寺村地域の生活道路として重要な路線であり、安全面に十分配慮し、

工期内の完成を図るよう指示した。

2 池川木材第四工場について

平成26年度高知県木材加工流通施設整備費補助金により平成27年度末に工場が完成、平成28年度より操業開始。

工場ではCLT用ラミナを製造し、計画に対する達成率は、原木投入量達成率も平成27年度、平成28年度共に順調に推移。CLTラミナの製造達成率も計画を上回る実績となっている。



池川木材第四工場視察後、事業内容の説明を受ける

本町の基幹産業で、雇用の場としても期待する。

3 竹屋敷谷川災害現場（西田所長説明）について

県職員と現場を視察した結果、災害現場の流木を取り除き、再調査の後、早期に工事を着手したいとの回答。

4 長者宮ヶ坪災害現場（西村課長説明）について

県の事業であり、9月末査定に向け申請中。年内に着手したいとの回答。



宮ヶ坪災害現場

仁淀川の鮎は、仁淀ブルーに象徴される清流で育ち、その味は全国でもトップクラスだといわれています。鮎漁は網、友掛け、シャクリなどの伝統漁法があります。

このたび、仁淀中学校生徒がシャクリ漁体験をし、感想を投稿してくれたので紹介をします。



“シャクリ漁で学んだこと”

1年 おおた しょう

シャクリ漁で学んだことは、針を直接魚の所に投げ入れないことです。直接投げ入れると魚が逃げてしまうので、針を流して漁りたいポイントへ送ることが分かりました。

うまく魚に針が引っかからず苦戦するけれど、ポイントを聞いて2匹も釣れたので良かったです。焼いた鮎はとてもおいしかったです。釣った魚は2匹とも鮎とは違う魚だったのでがっかりしたけれど、魚が釣れたことが嬉しかったです。もっとシャクリをしたかったです。





“シャクリ漁で学んだこと”

1年 掛水 心優 かけみず こころ

私は鮎をしゃくって取るのは魚を放流したときにしかやったことがありませんでした。でも今回初めて川で野生の鮎のシャクリ体験をすることができました。

私はシャクリというのは苦手で、周りのみんながやっているようにしてみましたが、とても難しかったです。苦戦していると近くから「釣れたー！」と大きな声が聞こえてきはじめました。私は、1匹は釣ろうと思ったのですが、1匹も釣れませんでした。またリベンジしようと思います。釣ったばかりの鮎を食べると、少し苦みがあつておいしかったです。

1年 藤原 采音 ふじはら あやね

私はシャクリがこんなに



難しいとは思いませんでした。私は水中めがねを使つてシャクリをしたことがないので、初めはめがねが水に浮いて魚を見ることもなかなかできなかったけれど、そのうちに水中めがねの扱いにも慣れて魚を見る

ことができました。鮎が来たと思つて、竿を振つてしゃくつたら、鮎が釣れて嬉しかったです。針が水に流れてその所にとどまらなかったり、水の流れに引つ張られて竿が重く感じて難しかったです。また、重り

を見失つたり、針がよく分からない所にあつたりして鮎を探すことに苦労しました。でも、鮎を釣つたときの達成感がすごくありました。それに、鮎を釣るのが楽しいということがこのシャクリ漁体験であらためて知ることができました。

1年 細川 翔太 ほそかわ しょうた

鮎釣りの体験をしました。鮎釣りは2

回目だったけれど、すごく難しくて針がなかなか引つかかりませんでした。しゃくつても思うところにいかなくて、鮎がかかったとしてもかかりが甘いとすぐ逃げられるので鮎が全然釣れませんでした。川の中には、アメゴやハヤ、コイがいました。僕たちが釣つたのは小さい鮎ばかりだったけれど、指導してくださった鮎釣り名人は短い時間で大きい鮎をいっぱい釣っていたのでさすがだなと思いました。

釣った魚を食べてみると、すごくおいしかったです。シャクリは難しかったけど楽しくて、またやってみたいなと思



いました。

2年 片岡 朱香 かたおか あやか

私はわんぱくカーニバルで鮎のつかみ取りやシャクリ体験のイベントに参加したことがあり、今回が初めての体験ではなかったけれ



ど、川が少し深くてやりにくかったです。魚が少なくて引つかけることがとても難しかったです。でもやっていくとコツもつかんで、やっと1匹釣れました。そのとき鮎を逃がさないために、釣り竿を寝かしながらゆっくり岸まで持っていくということを知りました。合計4匹釣ることができて嬉しかったです。今回の体験で初めて知ったことは、

水中めがねが曇っている、よもぎの葉でこすると良いということです。初めて知ったこともあり、良い体験になりました。

2年 西森 聖夜

私は、シャクリをやるのは初めてでした。朝からだったので川に入ってやる時はすごく寒かったです。

シャクリを実際やってみるとすごく難しかったです。針が魚に少し当たったりしたけど、魚にきれいに刺さってしゃくることがうまくできません

でした。鮎や小さい魚などは奥の方や石と石の隅にいて、そこに重りを落とそうとしても川の流れて流されて、魚がいる所になかなか落とせませんでした。みんな釣った魚を食べ、すごくお

いしかったです。私は魚を釣ることはできなかったけれど、すごく楽しかったのでもたやりたいと思います。そして、シャクリはあまりやることのないので、良い経験になりました。

3年 大原 蒼史

僕たち特産物見つけ隊は、夏休みの間に鮎釣り名人から鮎のシャクリを教えていただきました。鮎のシャクリ体験は、最初は簡単だろうと思っていましたが、実際やってみると、とても難しかったです。

また、名人は「シャクリをする人が年々少なくなってきた」と言っていました。シャクリは仁淀の伝統的な漁法なので、子どもたちが受け継いでいきたいなと思いました。

鮎のシャクリ体験は難しかったです。とても楽しかったです。

3年 一ツ町政博

シャクリ漁体験をして、とにかく難しいと思いました。釣り糸の長さが決まっています、川の流れて針を操ることができなかったです。しかし釣れたときはとても嬉しかったです。部活動より集中力を使いました。また姿勢が大事で、

シャクリ漁をやった後、腰を痛めました。名人を見るとスパスパッと釣っている、「さすが名人だ」と思いました。また機会があればやりた

いです。

3年 山下 颯太

仁淀中の総合学習の一環として、夏休みにシャクリを行いました。鮎釣り名人が忙しい時間の合間に縫って僕たちにシャクリを教えてくださいました。

最初は難しいと思ってやっていたけど



ど、しゃくれるとおもしろく、楽しかったと思います。

皆さんは、シャクリは難しいという概念があると思います。しかしそんなことはありません。やってみると楽しいです。ぜひやってみてください。

議員寄附行為の禁止

仁淀川町議会に対し、平素は深いご理解とご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

今年も余すところ、2カ月となりました。光陰矢のごとしといわれますが、本当に1年も早いものでございます。

さて、お正月になりますと、平素のご愛顧への感謝とあわせ、新年のあいさつが恒例となっています。

しかし、公職選挙法では**選挙の有無にかかわらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。**寄附などの行為はもちろんのこと、**新年の年賀**をはじめ**あいさつ回り**なども規制されております。

具体的には下記のような行為が禁止されており、仁淀川町議会として、法令遵守を徹底するように申し合わせをいたしました。ご理解、ご協力を賜りますよう、ご案内申し上げます。

仁淀川町議会議員一同

政治家の寄附は禁止、有権者が求めることも禁止されています

秘書等が代理で
出席する場合の
結婚祝



地域の運動会・
スポーツ大会への
飲食物等の差入



お祭りへの
寄附・差入



町内会の集会・
旅行等の催物への
寸志・飲食物の
差入



みんなで徹底しよう
三ない運動

贈らない!

求めない!

受け
取らない!

これらのものも、政治家の寄附禁止の
対象となります。

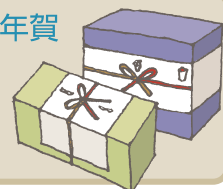
落成式・
開店祝等の
花輪



病氣見舞



お歳暮・お年賀



入学祝・卒業祝



葬儀の花輪・
供花



秘書等が代理で
出席する場合の
葬儀の香典



総務省 なるほど!選挙「寄附の禁止」

http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/naruhodo/naruhodo08.html

(総務省ホームページより)



残したい文化財 七社天神宮



さまざまな場所に見られます。宮大工として技術の高い長州大工というのは、江戸時代から明治・大正のころに四国地方などに出嫁ぎを目的として、各地域で神社やお寺などを建築した、周防大島の大工の人々のことをいいます。町内には他にも多くの長州大工の技が残る建築物があります。

この河嶋山神
社は嘉吉3（1443）年に、現在の地より上流の地に、大野地区と百川内地区の総氏神様、「七社天神宮」として祀られ、その後、天保3（1832）年に移築したようです。神社の屋根や内部、欄間など、長州大工の華麗な技がさ

日 記 帳

30年6月	12月13日	13日	25日	26日	29日	7月10日	13日	18月20日	20日
定例議会	議会だより特別委員会	高知県町村議会議長会理事会（高知市）	国道439号新矢管トンネル早期実現期成同盟会定期総会（津野町）	議会だより特別委員会	町村議会広報クリニック（東京都）議会だより特別委員会委員	議会だより特別委員会	全国森林環境税創設促進議員連盟第25回定期総会及び土佐・長岡・吾川郡町村議会連絡協議会視察研修（埼玉県秩父市、秩父郡長瀬町）【正副議長出席】	市町村議会議員研修会（高知市）	議会だより特別委員会
23日	25日	27日	30日	9日	20日	27日	29日	4日	9日
国道33号期成同盟会高知県協議会要望活動（高松市・国土交通省四国地方整備局）	国道494号整備促進期成同盟会総会（佐川町）	吾川郡町村議会議長会	議会基本条例検討特別委員会	産業建設常任委員会	町村議会議長研修会及び県政に対する意見交換会（高知市）	議会基本条例検討特別委員会	地域に根ざした佐川高等学校を後援する会総会（佐川町）【副議長出席】	議会運営委員会	仁淀中学校体育祭

編集後記

8年ぶりに議会だより編集委員を仰せつかり、時代の変遷を感じています。この世に生まれて早70年。

この間に世のため人のために、何ができたかを自問自答すると、何一つ自信のあるものではありません。

このたび、議会だより編集に携わる機会を与えてくださったことに感謝し、編集を通じて、今一度、自分に何ができるか考え、行動することで町の発展に貢献できるのか考え、毎日を過ごします。

（野村 安夫 記）

議会だより特別委員会

委員長 竹本 文直
副委員長 左京 憲昌
委員 大野 弘
委員 藤崎 源彦
委員 野村 安夫